

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(20歳代女性2例)あり、2例ともに感染地域は国内、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は2例となっています。発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(60歳代男性、60歳代女性)ありました。本年の累積報告数は7例となりました。京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- インフルエンザが流行中です。体調管理に注意し、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど予防を徹底しましょう。インフルエンザの発生状況や予防対策については、下記URLを御参照ください。
○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
○子どもの感染症2月号「手洗いでウイルスをやっつけよう！」(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>
○インフルエンザの発生状況について(健康安全課のホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は40.90(2,822例)となり、前週の38.96(2,688例)から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 3例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 23例(肺結核 11例, その他結核5例, 潜在性結核感染者 7例)うち喀痰塗抹陽性 3例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 7例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	40.90	2,822
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.12	220
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	44
	③ RSウイルス感染症	0.44	19
	④ 突発性発しん	0.33	14
	⑤ 手足口病	0.23	10
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

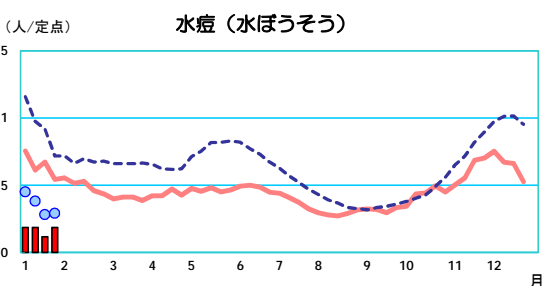
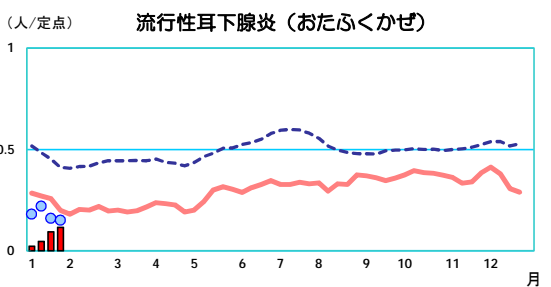
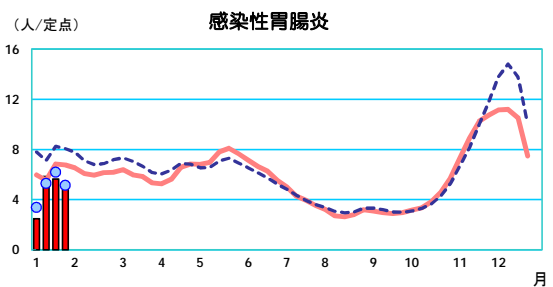
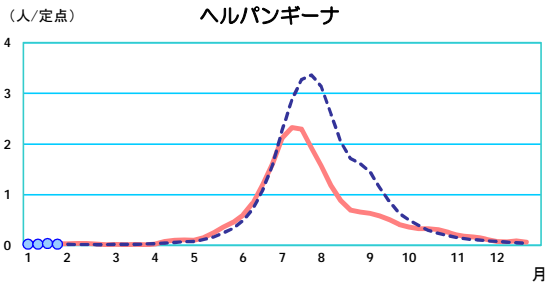
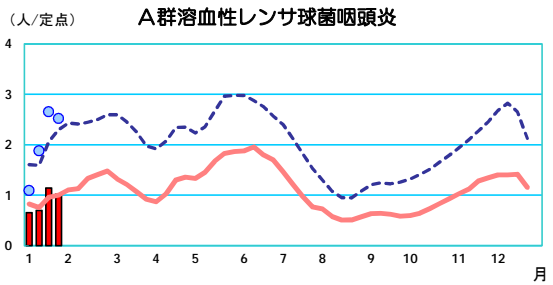
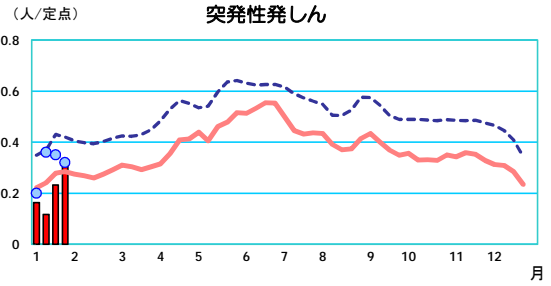
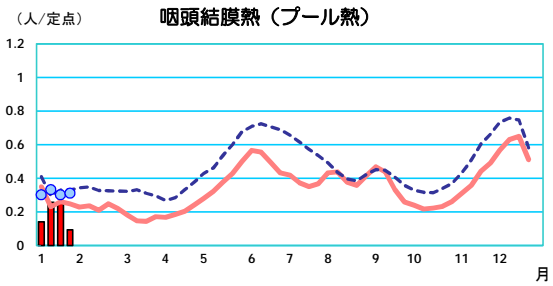
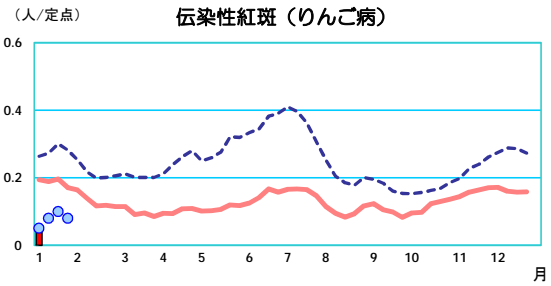
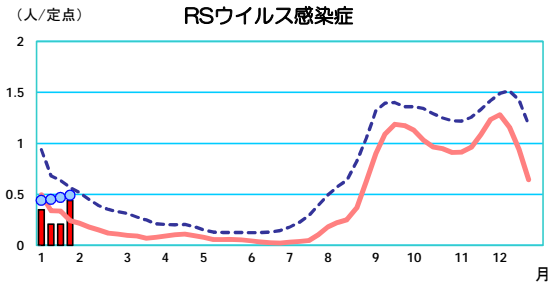
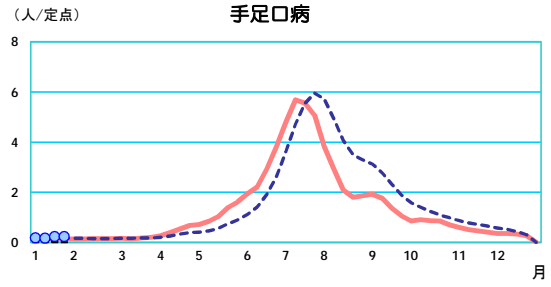
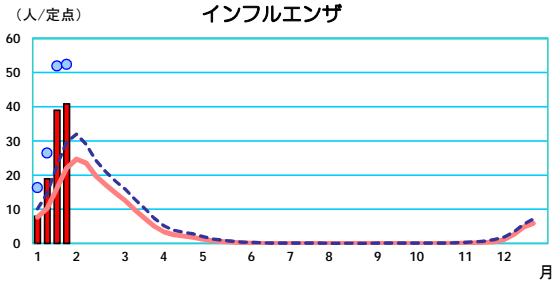
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年1月31日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第4週(1月22日～1月28日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は40.90(2,822例)となり、前週の38.96(2,688例)から増加しました。全国では52.35で、前週の51.93から増加しています。京都市および全国とも依然警報レベルが続いています(図1)。

インフルエンザは毎年のように流行を繰り返し、社会生活へ大きな影響を与えています。インフルエンザの社会的影響の指標の一つとして、超過死亡があります。超過死亡とは世界保健機関(WHO)によって提唱されている考え方で、インフルエンザが流行したことによって、インフルエンザ・肺炎死亡(インフルエンザによる直接および間接的死亡)がどの程度増加したかを示す推定値です。

具体的には、インフルエンザの流行がなかった場合の予測死亡数(ベースライン)を基準にして、閾値(これ以上死亡が増えたら確率的にインフルエンザによる流行が原因と考えられるという値)を算出し、実際の死亡数が閾値を上回った場合に超過死亡が生じたと解釈します(詳細は下記URL参照)。

国立感染症研究所では1998/99シーズンからインフルエンザ・肺炎死亡における超過死亡の評価を公表し、2000/01シーズンからは東京都及び政令指定都市(平成30年1月現在で21大都市)について、インターネット上で迅速把握システムによるグラフを公開しています。

このシステムでの平成30年1月29日現在の報告によれば、今シーズンは京都市及び21大都市(川崎市を除く)での超過死亡はありません(図2)。

今シーズンは全国的に大流行していますが、超過死亡から見ると上記のような状況です。今後も通常の基本的な予防策及び適切な受診で冷静に対処することが求められます。手洗い・うがい・咳エチケットなどに加え、十分な栄養と休息・睡眠などに気をつけ、予防を心がけましょう。

【国立感染症研究所】インフルエンザ・肺炎死亡における超過死亡について

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/2069-surveillance/others/2650-00abst.html>

【国立感染症研究所】インフルエンザ関連死亡迅速把握システム

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/2112-idsc/jinsoku/131-flu-jinsoku.html>

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

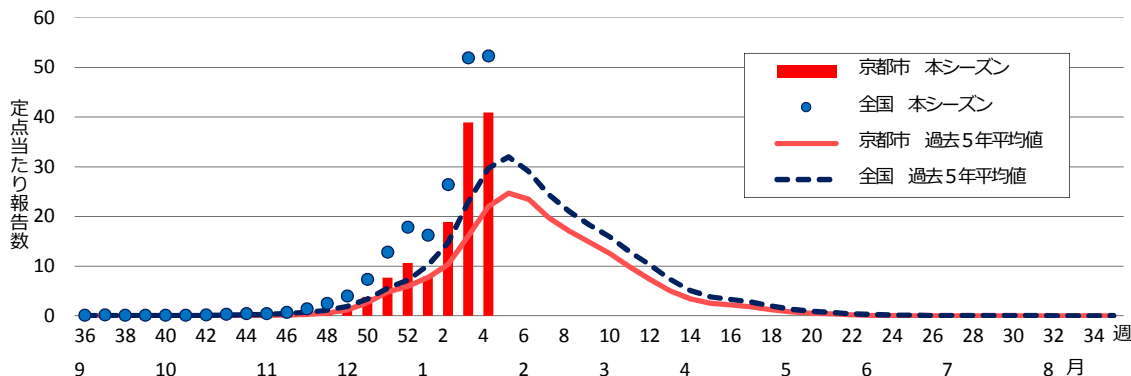
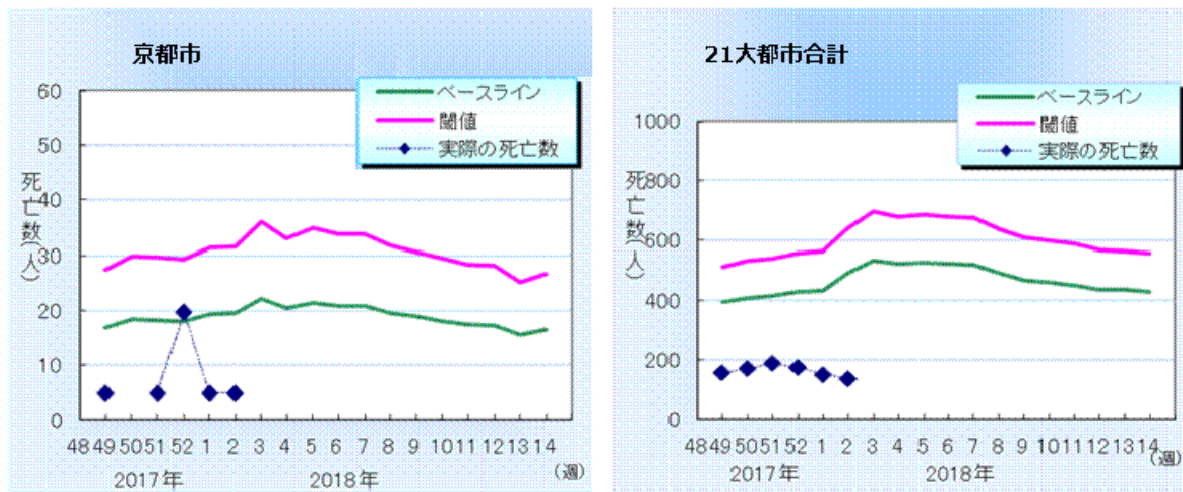


図2 京都市及び21大都市合計のインフルエンザ・肺炎死亡(2017/18シーズン)



国立感染症研究所ホームページより引用、一部改変 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/2112-idsc/jinsoku/131-flu-jinsoku.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第4週

疾病,行政区別報告数

平成30年1月22日～平成30年1月28日

データ入手日:平成30年1月31日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	111	1	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	147	2	-	2	3	-	-	-	2	-	-	-	-						
左京	273	2	-	4	60	-	1	-	1	-	1	-	-						
中京	149	-	-	8	9	-	4	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	83	2	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	319	4	-	-	1	1	1	-	6	-	-	-	-						
下京	104	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	316	-	-	1	21	-	1	-	1	-	-	-	-						
右京	481	2	-	9	41	2	2	-	-	-	2	-	3						
伏見	485	4	4	15	43	1	1	-	3	-	-	-	-						
西京	354	2	-	4	28	4	-	-	1	-	1	-	-						
京都市計	2,822	19	4	44	220	8	10	-	14	2	5	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点あたり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	15.86	0.25	-	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	29.40	0.67	-	0.67	1.00	-	-	-	0.67	-	-	-	-						
左京	39.00	0.50	-	1.00	15.00	-	0.25	-	0.25	-	0.25	-	-						
中京	29.80	-	-	2.67	3.00	-	1.33	-	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	27.67	1.00	-	-	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	45.57	0.80	-	-	0.20	0.20	0.20	-	1.20	-	-	-	-						
下京	34.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	63.20	-	-	0.33	7.00	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-						
右京	60.13	0.40	-	1.80	8.20	0.40	0.40	-	-	-	0.40	-	3.00						
伏見	44.09	0.57	0.57	2.14	6.14	0.14	0.14	-	0.43	-	-	-	-						
西京	44.25	0.40	-	0.80	5.60	0.80	-	-	0.20	-	0.20	-	-						
京都市計	40.90	0.44	0.09	1.02	5.12	0.19	0.23	-	0.33	0.05	0.12	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第4週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年1月22日～平成30年1月28日

データ入手日:平成30年1月31日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	2,822	8	14	74	93	108	205	217	237	223	191	158	472	132	90	144	168	103	74	62	49	
RSウイルス感染症	年齢3	19	3	5	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		4	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	-	-	1	4	2	6	7	9	3	2	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		220	1	22	22	30	14	18	12	14	9	8	7	25	8	30	-	-	-	-	-	-	-
水痘		8	-	-	-	-	-	2	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		10	-	2	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		14	-	6	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	40.90	0.12	0.20	1.07	1.35	1.57	2.97	3.14	3.43	3.23	2.77	2.29	6.84	1.91	1.30	2.09	2.43	1.49	1.07	0.90	0.71
RSウイルス感染症	年齢3	0.44	0.07	0.12	0.21	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.09	-	0.02	-	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.02	-	-	0.02	0.09	0.05	0.14	0.16	0.21	0.07	0.05	-	0.14	-	0.09	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.12	0.02	0.51	0.51	0.70	0.33	0.42	0.28	0.33	0.21	0.19	0.16	0.58	0.19	0.70	-	-	-	-	-	-
水痘		0.19	-	-	-	-	-	0.05	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.23	-	0.05	0.07	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.33	-	0.14	0.14	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第4週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年1月31日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	538	777	550	1,304	2,688	2,822
RSウイルス感染症	17	13	15	9	9	19
咽頭結膜熱	7	8	6	11	11	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	73	28	30	49	44
感染性胃腸炎	392	302	106	251	242	220
水痘	7	12	8	8	5	8
手足口病	17	16	6	1	6	10
伝染性紅斑	-	-	2	-	-	-
突発性発しん	15	4	7	5	10	14
ヘルパンギーナ	5	4	-	1	-	2
流行性耳下腺炎	4	2	1	2	4	5
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	1	1	2	5	3
細菌性髄膜炎(※2)	-	1	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,064	1,213	730	1,624	3,029	3,151

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	7.80	11.26	7.97	18.90	38.96	40.90
RSウイルス感染症	0.40	0.30	0.35	0.21	0.21	0.44
咽頭結膜熱	0.16	0.19	0.14	0.26	0.26	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	1.70	0.65	0.70	1.14	1.02
感染性胃腸炎	9.12	7.02	2.47	5.84	5.63	5.12
水痘	0.16	0.28	0.19	0.19	0.12	0.19
手足口病	0.40	0.37	0.14	0.02	0.14	0.23
伝染性紅斑	-	-	0.05	-	-	-
突発性発しん	0.35	0.09	0.16	0.12	0.23	0.33
ヘルパンギーナ	0.12	0.09	-	0.02	-	0.05
流行性耳下腺炎	0.09	0.05	0.02	0.05	0.09	0.12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.80	0.10	0.10	0.20	0.50	0.30
細菌性髄膜炎(※2)	-	1.00	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	20.64	22.45	12.23	26.49	47.27	48.78

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。